

科目名	現代文B	単位数	3単位	学年	2年	コース	進学α理系	必修
教科書	新精選 現代文B(明治書院)							
副教材・参考書	国語辞典・トータルサポート新国語便覧・新精選現代文B学習課題ノート・大学入試国語頻出問題1200							
授業の到達目標	視野を広げ、文化に対する関心や自己の思考力・表現力を高めること。							
授業内容・進め方	近代以降の広い範囲にわたる文章に対する読解力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を身につけさせること。 自ら進んで「読む」「考える」姿勢を持ち、何らかの考えを発信できることを望む。							
成績評価方法	定期考査80%、小テスト・提出物・授業態度などの平常点20%を原則とする。							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	随想 「桜との出会い」(馬場あき子)					
			随想 「本を積んだ小舟—フェアブル『昆虫記』」(宮本 輝)					
	5月	考査実施	評論 「脳の中の古い水路」(福岡伸一)					
			小論文 小説 「山月記」(中島 敦)					
	6月	/	評論 「この瞬間を歴史に刻む」(金森 修)					
			詩 「永訣の朝」(宮沢賢治)「小景異情」(室生犀星)					
7月	考査実施							
(2学期)	9月	/	小説 「バブーシュカ」(吉本ばなな)					
			評論 「近代都市のレトリック—スカイラインと塔状建築」(陣内秀信)					
	10月	考査実施	評論 「猫は後悔するか」(野矢茂樹)					
			短歌・俳句 「昼ながら幽かに光る」「金剛の露」					
	11月	/	評論 「いのちのかたち」(西谷 修)					
12月	考査実施	評論 「科学と世界観」(村上陽一郎)						
(3学期)	1月	/	小説 『こころ』(夏目漱石)					
	2月	/	評論 「身体という受動性」(細身和之)					
3月	考査実施							

科目名	古典B	単位数	2単位	学年	2年	コース	進学α理系	必修	
教科書	精選 古典B 改訂版(大修館書店)								
副教材・参考書	古語辞典・学習課題ノート・トータルサポート新国語便覧・完全マスター古典文法・書き込みながら覚える古典文法ワークノート・わかる・読める・覚えるkey&point古文単語330・基礎から解釈へ漢文必携・漢文必携チェックノート基本編								
授業の到達目標	古典としての古文・漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、ものの見方・感じ方・考え方を広めつつ、古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育てる。								
授業内容・進め方	古典の読解を中心に、辞書や副教材を活用し、古典文法・漢文句法・文学史・古典の基礎知識などを関連付け、各教材を味わいながらも、大学受験に対応できる力をつけていく。								
成績評価方法	定期考査80%、主体的に学びに向かう姿勢などの平常点20%を原則とする。								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	古文:説話『十訓抄』『大江山いくのの道』 用言の復習・和歌の修辞						
			漢文:訓読の基礎 訓点の仕方・書き下し文・句法など						
	5月	考査実施	故事成語「漱石枕流」「塞翁馬」(「画竜点睛」) 句法など						
	6月	/	古文:物語『伊勢物語』『初冠』 歌物語について・助詞・助動詞・和歌の修辞						
漢文:史伝『史記』『鴻門の会』(一)(二) 時代背景・句法など									
7月	考査実施	古文:随筆『枕草子』『中納言参りたまひて』 三大随筆について・敬語の入門							
(2学期)	9月	/	古文:和歌『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』三大集について・和歌の修辞						
			漢文:史伝『史記』『項王の最期』(一)(二) 時代背景・人物関係・句法など						
	10月	考査実施							
	11月	/	古文:物語『大鏡』『競べ弓』 助詞・助動詞・敬語・時代背景・人物関係						
漢文:漢詩 近体詩 漢詩のきまり 「江南春」「送友人」「登高」									
12月	考査実施								
(3学期)	1月	/	古文:『源氏物語』『桐壺』 助詞・助動詞・敬語・時代背景・人物関係						
			漢文:文章『陶淵明集』『桃花源記』 句法・助辞						
	2月	/	古文:『更級日記』『あこがれ』(日記文学の流れ・作者について)						
3月	考査実施								

科目名	数学Ⅱ	単位数	4単位	学年	2年	コース	進学α理系	必修
教科書	数研出版 高等学校 数学Ⅱ 数学Ⅲ							
副教材・参考書	4プロセス 数学Ⅱ+B 数学Ⅲ							
授業の到達目標	実数の領域から複素数の領域まで方程式の概念の拡張をし、的確に処理できるようになる。座標平面上に図形を方程式として表現すること、また、式から図形をグラフとして表現できるようにする。様々な関数を解析し、処理するための基盤を構築する。数学と様々な学問を積極的に結び付け考える姿勢を身に着ける。また、理系入試に対応する応用問題を解くことができるようにする。							
授業内容・進め方	(数学Ⅱ) 3. 図形と方程式 4. 三角関数 5. 指数関数と対数関数 6. 微分法と積分法 (数学Ⅲ) 2. 式と曲線 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。3学期は数学Ⅲの内容に取り組む。(1. 式と証明 2. 複素数と方程式 は1年次に履修済み)							
成績評価方法	考查素点を80%、課題の提出状況・出欠状況・授業態度(主体的に学びに向かう姿勢)等を20%を原則として総合的に評価する。							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	第3章 図形と方程式	第1節 点と直線				
				第2節 円				
	5月	考查実施		第3節 軌跡と領域				
	6月	/	第4章 三角関数	第1節 三角関数				
	7月	考查実施		第2節 加法定理				
(2学期)	9月	/	第5章 指数関数と対数関数	第1節 指数関数				
				第2節 対数関数				
	10月	考查実施	第6章 微分法と積分法	第1節 微分係数と導関数				
				第2節 関数の値の変化				
	11月	/		第3節 積分法				
12月	考查実施							
(3学期)	1月	/	【数学Ⅲ】第2章 式と曲線	第1節 2次曲線				
				第2節 媒介変数表示と極座標				
	2月	/						
	3月	考查実施						

科目名	数学B	単位数	3単位	学年	2年	コース	進学α理系	必修
教科書	数研出版 数学B 数学Ⅲ							
副教材・参考書	4プロセス 数学Ⅱ+B 数学Ⅲ							
授業の到達目標	数列の法則を発見、解釈、処理する能力や、図形や座標をベクトルとして表現し、処理する能力を身につける。より発展的な分野を学習し、様々な数学的な現象を記述できるような表現力を身につけ、理系学問の基盤となる数学の力を習得する。数学と他教科の関連性を理解しようとする姿勢を身につける。							
授業内容・進め方	(数学B) 1. 平面ベクトル 2. 空間ベクトル 3. 数列 (数学Ⅲ) 1. 複素数平面 2. 式と曲線 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。数学Ⅲを早期に学習する。							
成績評価方法	考查素点を80%、課題の提出状況・出欠状況・授業態度(主体的に学びに向かう姿勢)等を20%を原則として総合的に評価する。							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	第1章 平面上のベクトル	第1節 ベクトルとその演習				
				第2節 ベクトルと平面図形				
	5月	考查実施		第2節 ベクトルと平面図形				
	6月	/	第2章 空間のベクトル					
	7月	考查実施	第2章 空間のベクトル					
(2学期)	9月	/	第3章 数列	第1節 等差数列と等比数列				
	10月	考查実施		第1節 等差数列と等比数列				
	11月	/		第2節 いろいろな数列				
				第3節 数学的帰納法				
	12月	考查実施		第3節 数学的帰納法				
(3学期)	1月	/	【数学Ⅲ】第1章 複素数平面	第1節 複素数平面				
				第2節 複素数の極形式				
	2月	/		第3節 ド・モアブルの定理				
				第4節 複素数と図形				
	3月	考查実施						

科目名	化学		単位数	4単位	学年	2年	コース	進学α理系	必修	
教科書・主教材	新版 化学 新訂版(実教出版)									
副教材・参考書	フォトサイエンス 化学図録(継続使用)、アクセスノート 化学 改訂版									
授業の到達目標	化学に関する基本的な概念や原理、法則を理解し、身近な事象とのつながりを学ぶ。また、実験・観察を通して実践的な技術を習得するとともに、探究的思考、論理的な表現力を養う。									
授業内容・進め方	講義を中心に、図録等の資料を用いて基本的な概念の理解を深める。また、適宜必要に応じて演示実験・生徒実験や、グループワーク等を取り入れる。家庭での予習・復習用に問題集に取り組みせることで、自ら学びに向かう力を育成する。									
成績評価方法	定期考查点を80%、平常点(課題評価・学習の主体性・論理的表現力等)を20%とした評価を原則とする。									
授業スケジュール										
(1学期)	4月	/	1章 物質の状態と平衡							
			1節 状態変化							
			2節 気体の性質							
	5月	/	3節 固体の構造							
			4節 溶液							
	6月	/	2章 物質の変化と平衡							
			1節 化学反応とエネルギー							
			2節 反応の速さとしくみ							
	7月	/	3節 化学平衡							
	(2学期)	9月	/	3章 無機物質						
				1節 周期表						
2節 非金属元素										
10月		/	3節 金属元素							
			4節 無機物質と人間生活							
11月		/	4章 有機化合物							
			1節 有機化合物の特徴と分類							
			2節 脂肪族炭化水素							
12月		/	3節 酸素を含む脂肪族化合物							
(3学期)		1月	/	4節 構造式の決定						
				5節 芳香族化合物						
	6節 有機化合物と人間生活									
	2月	/	第5章 高分子化合物							
			1節 高分子化合物 ～ 2節 合成高分子化合物							
			3節 天然高分子化合物							
	3月	/	4節 高分子化合物と人間生活							
	備考	授業の進捗状況により、必要に応じて長期休暇中に実験・補習等を行う。								

科 目 名	物理基礎	単位数	2単位	学年	2年	コース	進学α理系	必修
教 科 書	改訂版 新編 物理基礎							
副教材・参考書	ワーク							
授業の到達目標	物理的な事物、現象についての関心や探究心を高め、科学的に探究する能力を育てるとともに、基本的な概念や原理、法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。							
授業内容・進め方	1、物理の基本的原理を実際の物理現象と関連づけさせ、生徒の自然への興味、関心を高める。 2、物理実験を通して、結果からの考察を追究させ、生徒の物理学的探究心を深める。 3、身近な物理現象について意見交換をさせ、テーマについて考えさせることで科学的思考力を高める。							
成績評価方法	定期考査による評価(80%)，平常点(提出物・主体的に学びに向かう姿勢など)による評価(20%)を原則として総合的に評価する。							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方					
	5月	考査実施	第2章 運動の法則					
	6月		第3章 仕事と力学的エネルギー					
	7月	考査実施						
(2学期)	9月		第2編 熱 第1章 熱とエネルギー					
	10月	考査実施	第3編 波 第1章 波の性質					
	11月		第2章 音					
	12月	考査実施						
(3学期)	1月		第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗					
	2月		第2章 磁場と交流 第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーの利用 第2章 物理学が拓く世界					
	3月	考査実施						

科目名	体育(男子)	単位数	2単位	学年	2年	コース		進学 α		必修		
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)											
副教材・参考書												
授業の到達目標	生涯にわたって自らが運動を親しむことができるように、協力しながら明るく豊かで活力ある生活を営む態度を目指します。											
授業内容・進め方	自己の能力に応じて運動技能を高めます。生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開します。各運動能力を技能や特性を生かし、安全に留意しながら実技を行います。											
成績評価方法	「関心・意欲・態度」40% 「思考・判断」10% 「運動の技能」40% 「知識・理解」10%を原則とする。											
授業スケジュール												
(1学期)	4月	/	体づくり運動									
			新体力テスト									
	5月		陸上競技(短距離)									
6月	/	マット運動										
7月		サッカー(ボールコントロール、1対1、攻防練習、個人技術)										
(2学期)	9月	/	バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)									
	10月		サッカー(ボールコントロール、1対1、攻防練習、個人技術)									
11月	/	バスケットボール(パス、シュート 他ルール説明、ゲーム等)										
12月		バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)										
(3学期)	1月	/	陸上競技(長距離)									
	2月	/	サッカー(シュート練習、ゲーム中心)									
3月		バレーボール(ゲーム中心)										

科目名	体育(女子)	単位数	2単位	学年	2年	コース	進学α	必修
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)							
副教材・参考書								
授業の到達目標	生涯にわたって自らが運動を親しむことができるように、協力しながら明るく豊かで活力ある生活を営む態度を目指します。							
授業内容・進め方	自己の能力に応じて運動技能を高めます。生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開します。各運動能力を技能や特性を生かし、安全に留意しながら実技を行います。							
成績評価方法	「関心・意欲・態度」40% 「思考・判断」10% 「運動の技能」40% 「知識・理解」10%を原則とする。							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	体づくり運動					
			新体カテスト					
	5月		陸上競技(短距離)					
6月	/	マット運動						
7月		ソフトテニス(スイング、ボールコントロール、1対1、攻防練習)						
(2学期)	9月	/	バレーボール(パス、サーブ、レシーブ)					
	10月		バスケットボール(パス、シュート 他ルール説明、ゲーム等)					
11月	/	バドミントン(サーブ、1対1攻防、ダブルス、シングルスゲーム)						
12月		陸上競技(長距離)						
(3学期)	1月	/	ソフトテニス(ダブルスゲーム中心)					
	2月	/	バレーボール(ゲーム中心)					
3月		バスケットボール(ゲーム中心)						

科目名	保健		単位数	1単位	学年	2年	コース	進学 α	必修
教科書	現代高校保健体育(大修館書店)								
副教材・参考書									
授業の到達目標	健康について理解を求めようとし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していくための資質や能力を育てることを目標とします。								
授業内容・進め方	健康について単なる知識理解にとどまらず、個人の適正な意思決定や行動選択ができるように、それぞれの単元の主概念を教科書中心に学習します。 基礎基本である知識を身につけ、考えることを主体に展開します。								
成績評価方法	「関心・意欲・態度」20% 「知識・理解」80%を原則とする。								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第1章 現代社会と健康						
			1. 私たちの健康のすがた 2. 健康のとらえ方						
			3. 健康と意思決定・行動選択						
	5月	考査不実施	4. 健康に関する環境づくり						
			5. 生活習慣病とその予防						
			6. 食事と健康						
	6月	/	7. 運動と健康						
			8. 休養・睡眠と健康						
			9. 喫煙と健康						
	7月	考査実施	10. 飲酒と健康						
(2学期)	9月	/	11. 薬物乱用と健康						
			12. 現代の感染症						
			13. 感染症の予防薬物乱用の防止						
	10月	考査不実施	14. 性感染症・エイズとその予防						
			15. 欲求と適応機制						
			16. 心身の相関とストレス						
	11月	/	17. ストレスへの対処						
			18. 心の健康と自己実現						
			19. 交通事故の現状と要因						
	12月	考査実施							
(3学期)	1月	/	20. 交通事故における運転者の資質と責任						
			21. 安全な交通社会づくり						
			22. 応急手当の意義とその基本						
	2月	/	23. 心肺蘇生法						
			24. 日常的な応急手当						
	3月	考査実施							

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4単位	学年	2年	コース		進学 α		必修	
教科書・主教材	MY WAY English Communication II New Edition 三省堂										
副教材・参考書	MY WAY English Communication II New Edition Standard、ワークブック・リスニングCD、SDGs 英語長文 Think, Share, Act-Core, Target 1900										
授業の到達目標	豊富な語彙力、英文を正確に解釈する力を身につけ、幅広い話題のまとまった英文の内容を読み取り、また聞き取り、正確かつ素早く理解に必要な情報をつかむことができるようになる。話す、書くなどの活動を積極的に行い、自分自身の考えを英語でしっかりと発信できるようになる。										
授業内容・進め方	5領域(読む・聞く・話す(やり取り・発表)・書く)の技能をバランスよく向上させる。英文中の必要な情報を素早く正確に読み取り、正しく英文を解釈する力を養う。定期的にパフォーマンステストを導入し、英語での発信力を高める。その為、普段から音読やリテリングなど、多くの活動を行い、他者に自分の考えを英語で発信させ、実践的な英語力を高める指導をする。										
成績評価方法	定期考査80%、平常点(課題提出、小テスト、発表など)20%を原則とする。										
授業スケジュール											
(1学期)	4月	/	Lesson 1 "Pictograms" (SVC/SVO/SVO(O=if節)/SVC(C=過去分詞))								
	5月	考査実施	Lesson 2 "A New Way to Clean Up the Ocean" (SVO ₁ O ₂ (O ₂ =if節, that節, what節) / it seems that ~ (Listening Testは考査内で実施)								
			Lesson 3 "Cuba" (it is ...to不定詞/ it is ...that ~/ 形式目的語) Lesson 4 "The World's Poorest President" (SVOC (C=動詞の原形、過去分詞) / help+O+動詞の原形)								
	7月	考査実施	パフォーマンステスト、(Listening Test は考査内で実施) SDGs 英語長文 Think, Share, Act-Core, Target 1900(夏季休暇課題)								
(2学期)	9月	/	Target 1900復習テスト(1学期学習分) Lesson 5 "Eye Contact" (関係代名詞/前置詞+関係代名詞/関係代名詞・関係副詞の非制限用法)								
			Lesson 6 "A Space Elevator" (現在完了形/現在完了進行形/過去進行形/未来進行形) (Listening Test は考査内で実施)								
	10月	考査実施	Lesson 7 "An Encouraging Song" (助動詞/助動詞+have+過去分詞/wouldを使った表現/完了不定詞) Lesson 8 "Language Contacts" (仮定法過去/仮定法過去完了/ifを使わない仮定法/no matter + 疑問詞)								
			パフォーマンステスト、(Listening Test は考査内で実施)								
(3学期)	1月	/	Target 1900復習テスト(2学期学習分) Lesson 9 "Charles Chaplin" (分詞構文(現在分詞、過去分詞)/完了形の分詞構文/付帯状況のwith)								
			Lesson 10 "The Five-story Pagoda of Horyuji" (同格のthat / 倒置 / 省略 / 強調構文) パフォーマンステスト								
	3月	考査実施	(Listening Testは考査内で実施)								
備考	帰りのSHRにてTarget 1900の小テストを原則、毎日実施する。長期休暇に課題あり。										

科目名	英語表現Ⅱ		単位数	3単位	学年	2年	コース		進学α		必修		
教科書	Vision Quest English Expression II Hope (VQII)												
副教材・参考書	Vision Quest English Grammar 47 New Edition (VQ47) 啓林館 POWER STAGE 英文法・語法問題 (桐原書店)、Vision Quest 総合英語												
授業の到達目標	1年次の英表Iの既習事項を元に、更に文法演習を重ねて英語の読む、聞く、話す、書くへとつながるように力をつける。週に1回ALTとのTeam-teachingを通し、言語規則のcommunicativeな観点からのアプローチを試み、総合的な英語力を身につける。												
授業内容・進め方	VQ47を主に使い、演習形式で英文法を深く学習する。VQIIを並行して使い、様々な文に触れ文の構成を意識しながら、適切な表現ができるように練習する。POWER STAGEも併用し、大学受験レベルを意識しながら演習を積んでいく。その日の授業の学習内容に関して予習、復習を前提とする。												
成績評価方法	定期考査70%、平常点30%を原則とし、平常点にはALT授業時の活動評価も入れる。												
授業スケジュール													
(1学期)	4月	/	VQ47 L4～L7 時制①②、完了形①②										
			VQII L1主語を決めるBuild-up1, 2										
			POWER STAGE 時制										
	5月	考査実施	VQ47 L11～12 受動態①②、L8～L10助動詞①～③										
			VQII L2動詞を決める①Build-up1, 2, Essay writing①										
			POWER STAGE 態・助動詞										
	6月	/	VQ47 L13～L16不定詞①～④										
			VQII L3動詞を決める②Build-up1,2, L4動詞の形を決めるBuild-up1, 2, EW②										
			POWER STAGE 不定詞										
	7月	考査実施	夏休み課題 VQ47 L4～L16既習範囲の復習とL17～L19予習										
	(2学期)	9月	/	VQ47 L11～12 受動態①②、L8～L10助動詞①～③									
				VQII L2動詞を決める①Build-up1, 2, Essay writing①									
POWER STAGE 態・助動詞													
10月		考査実施	VQ47 L13～L16不定詞①～④										
			VQII L3動詞を決める②Build-up1,2, L4動詞の形を決めるBuild-up1, 2, EW②										
			POWER STAGE 不定詞										
11月		/	夏休み課題 VQ47 L4～L16既習範囲の復習とL17～L19予習										
			VQII L8比較を表すBuild-up1, 2, EW④										
			POWER STAGE 比較										
12月		考査実施	冬休み課題 VQ47 L28～L31仮定法①～③、否定①										
(3学期)		1月	/	VQ47 L28～L29仮定法①②、L30否定①									
				VQII L7修飾語を加えるBuild-up2, L5 動詞の形を決めるBuild-up2									
	POWER STAGE 仮定法・否定												
	2月	/	VQ47 L31否定②、L35無生物主語・名詞構文、L37～L38接続詞①②										
			VQII Grammar Focus①②③、EW⑤										
			POWER STAGAE 無生物主語・名詞構文・接続詞										
	3月	考査実施	VQ47 L39～を春休み課題とする (担当者で確認)										
	備考	VQ47 L1～L3は1年→2年の春休み中の課題として4月授業開始後に確認する。週に1回ALTとのTeam-teachingの授業を行う。Speaking test3回、Essay writing 5回分も含む。											

科目名	家庭基礎	単位数	2単位	学年	2年	コース	進学α	必修
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)							
副教材・参考書	生活学Navi 資料+成分表 2022 ビジュアルクッキング							
授業の到達目標	家族・福祉・衣食住・消費生活などについて主体的・協働的な学びを通じて、知識・技能の習得と生活の充実・向上を図る力と実践的な態度を身につける。現在の生活課題の解決と将来を見通した生活設計を行い、自立への道筋を考えられるようになる。							
授業内容・進め方	家庭・消費生活・住生活・食文化・栄養素・保育・衣生活などの学習について、必要に応じて実習・グループワークを行いながら、プリントを用いて学習を行う。							
成績評価方法	定期テスト(70%)と課題、主体的に学びに向かう姿勢など、平常点(30%)によつての評価を原則とする。							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		1章「自分らしい人生をつくる」					
			青年期の課題、自立、家族と法律					
	5月	考査不実施	8章「経済生活を営む」					
			家計、消費生活、契約トラブル、悪徳商法					
	6月		5章「食生活をつくる」					
			食生活の変化と課題、5大栄養素					
	7月	考査実施	調理実習①					
(2学期)	9月		調理実習②					
			7章「住生活をつくる」					
	10月	考査不実施	住宅設計、デザイン					
			6章「衣生活をつくる」					
	11月		衣服の機能、手入れ					
			4章「共に生き、共に支える」					
	12月	考査実施	社会保障、リスク管理、共生					
(3学期)	1月		2章「子どもと共に育つ」					
			子どもの心身の発達、保育					
	2月		3章「高齢社会を生きる」					
			高齢社会の現状・課題					
	3月	考査実施	9章「生活を設計する」					
		生涯を見通す						